

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 9 号



目 次

展望

Gödel 集合論 I 山岡 悦郎 (1~35)

論 説

『信用詐欺師』におけるアイデンティティの混乱 野田 明 (37~51)

ヨーロッパ人の見た神道 稲賀 繁美 (53~66)

集権化と分権化への社会システム論的アプローチ序説 碓井 崧 (67~83)

集合理論と個人理論の連結の課題

—— とくに架橋の問題と変換の問題にかんして 久慈 利武 (85~107)

三重県津市図書館橋本文庫蔵の角筆文献について

—— 近世伊勢方言への接近 —— 山本 真吾 (一~三)

研究ノート

レッシングの文学・芸術論 (その二) 太田 伸広 (109~117)

ブレヒトの『コーカサスの白墨の輪』について 友永輝比古 (119~122)

多文化社会への模索とその困難点

—— スウェーデンの現実に学ぶ —— 児玉 克哉 (123~134)

紹 介

エグゾティスム論の現在

—— セガレン研究(1) —— 渡邊 芳敬 (135~148)

三重大学人文学部

1992